

平成25年 4月15日(月)

鉄鋼新聞 2面

村山鋼材

「神奈川営業所」開設

京浜地区の小口即納拠点に

廃業の会津鋼材を継承

熱延コイルセンター大手の村山鋼材(本社・千葉県浦安市入船、社長・村山和雄氏)は、京浜地区における各種鋼材類の小口・即納拠点を確保。新たに「神奈川営業所」を開設し、4月から本格的な営業活動を開始した。地域密着型のきめ細かい自販営業で新規需要開拓を推し進めていく。



本格始動した「神奈川営業所」

もともと取引関係にあった会津鋼材が廃業したのに伴い、村山鋼材が業務を引き継いだ格好。東京の大田区や品川区、目黒区および神奈川県の川崎市、横浜市といった京浜地区全般を販売エリアとし、薄板3品や厚中板はもちろん、アンクル・チャンネルなどの形鋼類や丸角パイプ、ステンレスなど各種鋼材製品を幅広く扱い、客先の要望に對してきめ細かく現物販売する。

神奈川営業所(川崎市川崎区池上町1-19、☎044-270-2227、FAXは2227)は総勢6人の陣容で、所長は西東京営業所の海

出賣所長が兼務。敷地面積は330平方メートル(倉庫・事務所は280平方メートル、賃借地)で、目下の取扱量は月間150ト程度だが、これを300トに伸ばすのが当面の目標だ。

傾注。昨年には茨城県牛久市に「北関東営業所」を、東京都武蔵村山市に「西東京営業所」を開設している。

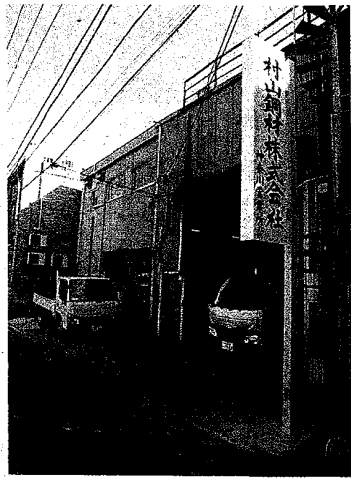
いずれも地域密着型の小口在庫販売を展開することで自社材の拡販につなげるのが狙いで、この方針に基づき「神奈川営業所」開設に踏み切った。京浜工業地帯における建機、トラック、建築・土木、エネルギー分野の新規ユーザー開拓を進めていく。

神奈川営業所を開設

村山鋼材 ユーザー開拓加速

大手コイルセンターの村山鋼材(本社千葉県浦安市、村山和雄社長)は今年から、昨年11月に川崎市に開設した「神奈川営業所」

での本格的な営業活動を開始した。主力の薄板3品や厚中板のほか、ステンレス、一般鋼材全般を常時在庫し、小口販売を展開



地域密着のきめ細かい対応を目指す

昨年の北関東(茨城県牛久市)、西東京(東京都武蔵村山市)に続く3拠点目の営業所開設で、地域密着型のきめ細かい対応を拡充し、ユーザー開拓を加速する。

営業所を開設し、3月末までに引き継ぎを完了した。会津鋼材は1967年設立で、長年にわたり、村山鋼材と取引関係にあった。神奈川営業所は6人体制で、所長には海出真課長が就任し、西東京営業所長と兼務する。西東京では、昨年2月の開設以降、地域の小口ユーザーを対象に主力の鋼板だけでなく、各種鋼材の在庫販

売を幅広く手掛けており、小口機能を神奈川にも水平展開することで、京浜工業地帯の潜在需要を掘り起こす。主な販売エリアは川崎市内をはじめ、横浜市、東京都大田区、品川区、目黒区など。月間取扱量は150トン。建機、トラック、建築土木、エネルギー分野などの需要家開拓に注力し、将来的には300トンまで引き上げた

い(芝崎正彦常務取締役)としている。

敷地面積は330平方メートル。建築面積は280平方メートル。トラック4台を保有する。

【神奈川営業所】

▽住所 神奈川県川崎市川崎区池上町1-19

▽電話 044-22227

70-22227

▽FAX 044-270-2228

神奈川営業所が本格スタート

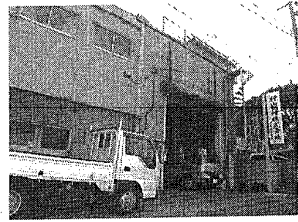
京浜地区のサービス強化

村山鋼材

村山鋼材(本社||千葉県浦安市、村山和雄社長)は4月、神奈川営業所(写真)を本格スタートさせた。長年の取引先であった会津鋼材の廃業に伴い商権を引き継ぐとともに、京浜工業地域の営業展開においてサービス向上を図るのが営業所開設の目的だ。

村山鋼材では昨年に北関東営業所や西東京営業所を開設しており、自社販売強化の一環として地域に密着したよりきめ細かい顧客対応に軸足を置いている。神奈川営業所は京浜工業地域である大田区、品川区、川崎市、横浜市などを主要営業エリアとし、建機やトラック、建築・土木、エネルギーなどの需要分野における浸透をはかっていく。

神奈川営業所は海出真氏が所長を務める。人員は6名。月間販売は当面150トとし、将来的に300ト



を目標と定めている。扱いは種は、得意とする薄板3品、厚中板の他、一般鋼材も手掛ける。営業所は賃貸で敷地面積は330平方メートル、事務所および倉庫面積は280平方メートルとなっている。主要設備は2・8ト天井クレーンが2基、トラックは4台所有。

神奈川営業所の住所・電話 ▽住所||神奈川県川崎市川崎区池上町1-19▽電話||044-270-2228。
27▽FAX||044-270-2228。